

令和6年度
古河市社会福祉協議会事業報告書
第3期古河市地域福祉活動計画4ヶ年目



社会福祉法人 古河市社会福祉協議会

— 目 次 —

第3期古河市地域福祉活動計画 4つの基本目標	P 2
社協組織	P 3
基本目標 1	P 4
(1) 災害時支援体制の確保	P 4
(2) 小地域福祉活動の推進・見守りシステムの構築	P 4
(3) 支え合う人づくり	P 6
(4) 地域福祉活動のしやすい環境づくり	P 8
(5) ボランティアなど地域組織への活動支援	P 10
(6) 地域ネットワークの構築	P 11
基本目標 2	P 12
(1) 在宅福祉サービスの充実・支援（高齢者・介護保険事業）	P 12
(2) 在宅福祉サービスの充実・支援（障がい者）	P 14
基本目標 3	P 15
(1) 生活安定のための環境づくり	P 15
(2) 権利擁護の充実（成年後見サポートセンターの拡充）	P 17
(3) 相談体制の充実	P 19
基本目標 4	P 20
(1) 適正な法人の運営	P 20
(2) 広報・啓発活動	P 23
(3) 財源の確保	P 24

第3期古河市地域福祉活動計画 4つの基本目標

基本目標 1

地域づくりのパートナー・支え合える人づくりをする社協

基本目標 2

支援を必要としている人を包括的、重層的に支える社協

基本目標 3

社会的弱者に寄り添い、権利擁護を推進する社協

基本目標 4

新たな福祉ニーズに柔軟に対応し、次世代へと信頼をつなぐ社協



社協組織

執行体制（40名）

- | | | | | | |
|------|--------------|------|-----|-------|-----|
| ・会 長 | 1 名 | ・副会長 | 2 名 | ・常務理事 | 1 名 |
| ・理 事 | 11 名（うち1名欠員） | ・監 事 | 2 名 | | |
| ・評議員 | 23 名（うち1名欠員） | | | | |

職員体制（87名）

【R5 年度 92 名】

○事務局（正職・嘱託・再任用）41名【R5 年度 44 名】

- | | | | | |
|---------|---------|---------|----------|-----------|
| ・局長 1 名 | ・次長 1 名 | ・課長 2 名 | ・副参事 2 名 | ・課長補佐 3 名 |
| ・係長 9 名 | ・主幹 3 名 | ・主事 8 名 | ・嘱託 7 名 | ・再任用 5 名 |

○臨時職員 7 名【R5 年度 7 名】

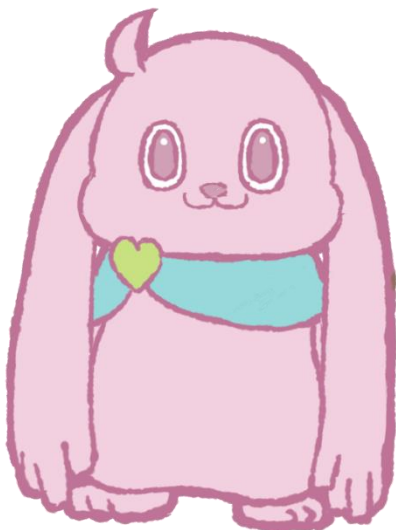
（内訳）

- | | | | |
|--------|-----|-------------|-----|
| ・地域支援係 | 2 名 | ・地域包括支援センター | 2 名 |
| ・生活支援係 | 2 名 | ・訪問介護支援係 | 1 名 |

○非常勤職員 39 名【R5 年度 41 名】

（内訳）

- | | | | |
|---------|------|----------------|------|
| ・登録ヘルパー | 22 名 | ・日常生活自立支援事業支援員 | 10 名 |
| ・認定ヘルパー | 1 名 | ・デイスティ | 6 名 |



基本目標 1

地域づくりのパートナー・支え合える人づくりをする社協

(1) 災害時支援体制の確保

①災害ボランティアセンターの設置・運営の実施

市内において災害が発生し、復興支援等が必要となった場合、本会が主体となり、『災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル』に沿って、同センターを設置・運営いたします。

②古河市及び関係機関との連携強化

令和5年度に災害時相互応援協定を締結した、古河市を含め近隣4市町社協（結城市・小山市・野木町）等関係機関による定期的な情報交換の場を通じて、災害時における支援体制の構築に努めました。

③災害時活動用資機材整備事業「ストックヤードこが」の実施

市内の個人、団体に事前の登録を行ってもらい、災害ボランティアセンター設置運営時に必要な資機材を提供してもらうシステムです。

登録者	R 6 年度末	R 5 年度末	前年度比
個 人	0 件	0 件	増減なし
団 体	8 件	7 件	1 件増

※登録総数で表示しています。

④災害発生時の避難行動支援者名簿への登録及び避難行動計画の作成支援

災害時において配慮が必要な方に対して、「古河市避難行動要支援者個別支援計画」を作成し、災害発生時には、要支援者の安全の確認を行い、行政機関等の関係機関と情報共有を図るよう努めます。

避難行動要支援者個別支援計画作成数 30 件

避難行動要支援者個別支援計画作成を事業所と事務調整し、事業所に作成を促した数 49 件

⑤事業継続計画（BCP）の活用

災害等の緊急事態発生時に、平常時及び緊急事態発生時における社会福祉協議会の役割、体制、職員動員等を明らかにし、迅速、円滑な対策を講じ、災害や事故などで被害を受けても、重要な福祉サービスを中断させない、又は中断したとしても可能な限り早急に再開できるよう『事業継続計画（BCP）』を活用します。

⑥能登半島地震災害ボランティアセンターへ職員派遣

被災地社協の災害ボランティアセンター運営支援のため、古河社協から職員2名を派遣いたしました。

- ・穴水町災害ボランティアセンター（1名） 令和6年5月18日（土）～5月24日（金）
- ・輪島市災害ボランティアセンター（1名） 令和6年7月17日（水）～7月23日（火）

(2) 小地域福祉活動の推進・見守りシステムの構築

①生活支援体制整備事業（マスコットキャラクター「らぶちゃん」）

高齢者の自立した日常生活の支援及び要介護状態になることの予防または軽減、悪化の防止を図るため、高齢者の生活支援及び介護予防に係る支援体制の整備を推進することを目的とする事業です。

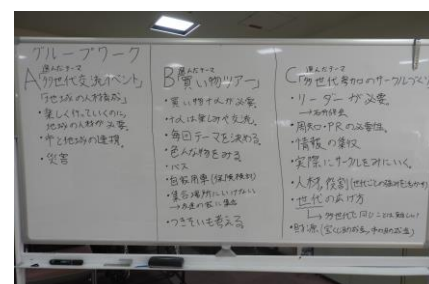
第1層協議体（地域生活支えあい会議）の開催（全4回開催）

	開催日	内容	参加人数
第1回	6月21日 (金)	委嘱状交付、自己紹介、事業説明 第2層協議体の現状について、地域課題等の共有	23名
第2回	9月24日 (火)	「子どもと関わる機会」「高齢者の社会参加」が出来ていないという課題に対するグループワーク ①地域住民目線でどのような方法で解決していくか ②①で決めた意見に対し、自分の所属の立場でどのような関わり方ができるか	18名
第3回	12月20日 (金)	グループワーク①「多世代交流」「多世代が参加できるようなサークルづくり」「買い物ツアー」「地域の人材育成」からテーマを1つ決める グループワーク②テーマについて、自分たちだったらどうするのか考える	16名
第4回	3月19日 (水)	第3回会議のまとめ グループワーク「令和6年度地域支えあい会議を通しての意見交換」	19名

②新たな地域での見守りシステムの構築

第2層協議体の開催

行政自治会 区分地区	第2層協議体名	R6年度	R5年度
第6地区	ほっこり6区	4回	4回
第7地区	カフェいこい カフェ鴻巣	6回	10回
第9地区	SUN9サロン	11回	12回
第15地区	いいかげん	1回	2回



第2層協議体設置に向けた勉強会の開催

地域の実情に合わせて支えあうシステムの構築を目指し、支えあいの地域づくりについて共に考える機会として、市民向け講演会を開催しました。

【地域支えあい講演会】

開催日 令和7年2月8日（土）

参加者 180名

講師 酒井 保氏（ご近所福祉クリエイション）

内容 「支え合い今昔物語～暮らしの中のホンモノの支え合いとは？～」

※「第3回ふくしまつり」と同時開催（24ページ参照）



地域支えあい講演会

③生活困窮者支援等のための地域づくり事業

地域におけるつながりの中で、地域住民のニーズ・生活課題の把握、住民による「居場所づくり」や地域住民の相談を丸ごと受け止め解決する多様な担い手づくりを支援し、地域の課題の解決や多様な担い手が連携する仕組みづくりに努めました。

また、生活困窮者世帯へ見守り訪問し、生活状況の確認と食材等を配布しました。

令和6年度フードバンクにおける食料配布実績：252件

（内アウトリーチによる支援 93件）

④日常的な見守り活動の充実

2層協議体やいきいきサロン等に「ももちゃん困りごと悩みごとシート」を配布し、地域の様々な課題に対応しました（令和6年度：16件）。また、各社協窓口及び高齢者サポートセンター、生活支援センターに寄せられた相談についても、必要に応じて専門機関に繋ぎ対応いたしました。また、各社協窓口及び高齢者サポートセンター、生活支援センター、ふれあいいきいきサロン等に身近な地域におけるふくしの相談窓口として、『地域のふくし相談窓口』ののぼり旗を設置しました。

⑤地域コミュニティを形成する居場所づくり

地域の繋がりを通じた助け合い活動や居場所づくりを推進するために、地域の「居場所」や「たまり場」のような場所として、コマーシャルベンチを設置しました。

・設置箇所 3カ所

（町水海集落センター、東牛谷集落センター、諸川西部公民館）



コマーシャルベンチ

(3) 支え合う人づくり

①児童・生徒ボランティア活動協力校の指定及び連携

市内小中学校及び高等学校等をボランティア協力校として指定し、児童・生徒に対するボランティア活動の普及に取り組みました。また、様々なボランティア事業への積極的な参加協力を推進するため、補助金を支給しました。（上限額：30,000円）

補助金合計 956,000円（33校） 【R5年度 866,000円（30校）】

（内訳）

- ・小学校 23校（30,000円21校、25,000円1校、辞退1校）
- ・中学校 9校（30,000円8校、辞退1校）
- ・中等教育学校 1校（辞退）
- ・高等学校 5校（1,000円1校、30,000円1校、辞退3校）
- ・専門学校 4校（30,000円1校、辞退3校）

②社協出前講座「ももちゃん寺子屋教室」の実施

企業やサロン、小中学校における福祉体験学習等の支援（点字版や高齢者疑似体験セット、体験セット用車椅子等の貸出等）を行っています。

令和6年度 6件 【R5年度 6件】

・社協ってなに？

～社協について学びませんか？～ 2件 【R5年度 2件】

・在宅での介護方法について 1件 【R5年度 1件】

・高齢者のよろず相談窓口

～地域包括支援センターを知っていますか？～ 3件

【R5年度 1件】

・認知症講座 6件 【R5年度 2件】

・ボランティアを始めよう！ 1件

・成年後見制度について 2件

・ヤングケアラーについて 1件

・高齢者疑似体験・車椅子体験 1件



③学生ボランティアサークル「ふうせん」の育成援助

ボランティア活動に関心のある中学生以上の学生によって組織され、代々活動が受け継がれています。市で行う行事や福祉まつりをはじめ、子ども会行事への協力を行っています。

・会員数 19名 【R5年度 41名】

<自主活動>

- ・夏期育成研修会
令和6年6月22日（土）～23日（日）
さしま少年自然の家
- ・春期育成研修会
令和7年3月22日（土）
さしま少年自然の家



春期育成講習会

④ふくしチャレンジスクールの開催

ボランティア体験月間にあたる夏休みを
利用した体験学習を通して、自立性・協調性を
培うと共に福祉への興味・関心を高め、
ボランティア活動への取り組みのきっかけ作りを
目的に実施しました。

行っちゃオ！2024(3・4年生)

開催日 令和6年7月25日（木）
参加者 38名
内 容 栃木県防災館見学
東日本盲導犬協会盲導犬体験



行っちゃオ！2024～防災館体験～

やっちゃオ！2024(5・6年生)

開催日 令和6年8月22日（木）
場 所 イーエスはなもも体育館
参加者 24名
内 容 福祉学習・車椅子鬼ごっこ
車椅子ドッジボール



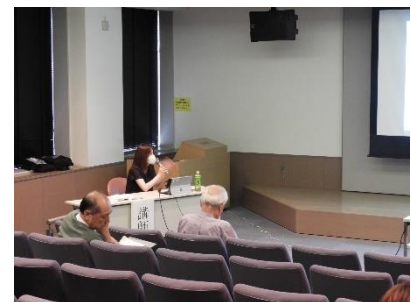
やっちゃオ！2024～車椅子ドッジボール～

⑤地域サポーター養成講座（入門編・実践編）の開催

複雑・多様化するニーズに対応するため、市民と共に支援する仕組みづくりが重要となります。
住み慣れた地域での暮らしをサポートするための人材を育てることを目的に、福祉の基本を学
び、質の高い人材を養成し確保するために実施しました。

入門編

開催日 令和6年8月30日（金）
会 場 古河福祉の森会館
受講者 12名
内 容 ・社協って何？社協概要と事業について
・地域サポーターに求められる活動とは
・ボランティアって何？
・コミュニケーション技法を活用してみよう
講 師 社協職員



入門編～講義風景～

実践編

開催日 講義：令和7年2月21日（金）
実践：令和7年3月1日（土）、3月8日（土）
会 場 古河福祉の森会館、三和地域福祉センター
参加者 6名
内 容 ・生活にお困りの方への支援について
・ミニフードパントリー補助
講 師 社協職員



実践編～講義風景～

⑥認知症サポーター養成講座の開催

地域包括支援センターの職員が講師として市内の小中高等学校へ出向き実施いたしました。

【地域包括支援センター古河担当地区】（延べ受講者数483名）

実施日	受講者	人数
令和6年 7月 2日(火)	古河第四小学校4年生	64名
7月11日(木)	古河第五小学校6年生	20名
7月12日(金)	古河第三小学校4年生	70名
7月16日(火)	古河第一小学校4年生	60名
7月19日(金)	ウエルシア介護サービス古河	14名
9月13日(金)	古河第一中学校2年生	128名
9月20日(金)	古河第二小学校5年生	63名
10月15日(火)	㈱瀬麗抜教育研究アカデミー	20名
10月25日(金)	認ともカフェ	12名
令和7年 1月21日(火)	社会福祉協議会職員	9名
3月13日(木)	古河第二高等学校2年生	23名

【地域包括支援センター三和担当地区】（延べ受講者数374名）

実施日	受講者	人数
令和6年 7月11日(木)	八俣小学校5年生	67名
9月 6日(金)	三和東中学校1年生	65名
9月10日(火)	名崎小学校6年生	66名
11月19日(火)	諸川小学校3年生	73名
12月11日(水)	三和中学校1年生	90名
12月12日(木)	大和田小学校4年生	13名

⑦古河市認定ヘルパーの養成

古河市では、平成29年4月より介護予防・日常生活支援総合事業が開始され、高齢者を支える担い手の整備が必要となりました。

古河市の委託事業である「生活支援体制整備事業」の一環として、年2回養成講座を実施し、「古河市認定ヘルパー」を養成することで、担い手の確保と市内業者での活躍につなげました。

開催日	開催場所	受講者	内容
令和6年 7月23日(火) ～24日(水)	福祉の森会館	15名	①介護保険制度の概要 ②高齢者の心と体に関する理解 ③家事応援訪問サービスで行うことができない行為
令和6年11月27日(水) ～28日(木)	福祉の森会館	16名	④家事応援訪問サービス従事者としての心得や倫理

（４）地域福祉活動のしやすい環境づくり

①ボランティア活動への参加促進

ももちゃんフードBOX事業

公共施設等への「ももちゃんフードBOX」設置や、各種イベント等でフードドライブを実施し、ボランティア活動に参加しやすい環境づくりに努めました。



<収集実績>設置個所：6か所

フードボックス設置場所	R6	R5
古河福祉の森会館	49件	735件
古河総和福祉センター健康の駅	43件	71件
古河三和地域福祉センター	16件	65件
古河市役所古河庁舎	49件	679件
古河市役所総和庁舎	25件	42件
古河市役所三和庁舎	12件	100件
合 計	194件	1,692件

※集計方法を変更しました。(個数 ➡ 回収件数)

<主な支援先>

生活にお困りの方や市内の福祉施設、子ども食堂、児童クラブ、その他市内小中学校等

ももちゃんフードドライブの実施

実施期間 令和6年9月5日(木)～12日(木)

食糧支援のための食品をお預かりしました。一部はフードパントリーに活用させていただきました。

不要入れ歯回収事業

入れ歯を精製し、取り出された金属をリサイクルすることにより資源として生まれ変わります。その利益がユニセフを通じての支援や回収団体に寄付(換金額の40%)され、ボランティア活動に役立ちます。

・収益金 なし【R5年度29,501円】

②企業の社会貢献活動等の促進

市内の企業や団体の皆様から食品を提供していただき、必要とされている皆様にお配りしています。

また、フードパントリーやミニフードパントリーでは、生活にお困りの方、ひとり親世帯の方などに、お配りしています。



フードパントリー(中央公民館)

フードパントリーの実施

開催日 令和6年9月14日(土)

会 場 古河市中央公民館

配布数 91世帯

配布品 パン、飲料、レトルト食品、菓子、日用品等

ミニフードパントリーの実施

開催日 令和7年3月1日(土)、3月8日(土)

会 場 古河福祉の森会館及び三和福祉センター

配布数 40世帯

配布品 パン、飲料、レトルト食品、菓子、米等

【協賛企業及び団体(順不同・敬称略)】

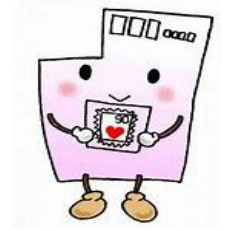
(株)ギンビス古河工場、古河ヤクルト販売(株)、ジャパンフリトレー(株) JA 茨城むつみ、戸井乳業(株)、トモエ乳業(株)、山崎製パン(株)古河工場 ヤマザキビスケット(株)、日野自動車(株)古河工場親和会、京三電機(株) マルハン古河北店、(株)ダイナム、末日聖徒イエス・キリスト教会 いばらきコープ生活協同組合



寄付の受け入れ

寄付金の他に主な物品の預託としては、使用済み切手・プリペイドカード
ベルマーク・書き損じはがき等で、定期的に預託される方のほか、企業の
社会貢献活動の一環として車椅子等を預託していただきました。

- ・受入れ合計 214件 【R5年度 225件 3,123,699円】
- ・金額合計 2,948,733円



(5) ボランティアなど地域組織等への活動支援

① ボランティアセンターの機能強化

地域社会において住民の参加するボランティア活動を推進し、市民一人ひとりが安心して暮らすことのできる福祉コミュニティ作りを目的としています。

ボランティア活動に関する相談、登録、コーディネート及びボランティア活動を行なう上での拠点の提供を行いました。また、ボランティア活動情報の収集、提供と活動に関する講座等の開催、ボランティアグループとの連絡調整の緊密化等、ボランティア活動がより豊かなものになるように支援に努めました。

登録・活動申込

- ・団体登録数 57団体（会員1,284名） 【R5年度 66団体（会員2,079名）】
- ・コーディネート件数 22件 【R5年度 19件】

ボランティア活動保険への加入

ボランティア個人またはボランティアグループなどがボランティア活動中の様々な事故によるケガや損害賠償責任に備え、加入事務手続きを行いました。

- ・登録件数 個人27件
団体61件

古河福祉の森会館ボランティア市民活動センターの設置・運営

- ・利用回数 192日 【R5年度 199日】

② 社協登録ボランティア団体等への運営援助（地域食堂等）

- 1) 社協登録ボランティア団体 34団体 【R5年度 31団体 1,515,000円】
 - ・社協登録ボランティア（一般） 26団体 990,000円
 - ・子ども食堂（地域食堂） 8団体 749,750円

- 2) その他の関係団体 【R5年度 16団体 3,348,000円】
 - ・古河市民生委員児童委員第1地区協議会 255,000円
 - ・古河市民生委員児童委員第2地区協議会 190,000円
 - ・古河市民生委員児童委員第3地区協議会 323,000円
 - ・古河市民生委員児童委員第4地区協議会 168,000円
 - ・古河市民生委員児童委員第5地区協議会 132,000円
 - ・古河市身体障害者(児)福祉団体連合会 550,000円
 - ・古河市中心身障害児(者)父母の会連合会 300,000円
 - ・古河市青少年相談員連絡協議会 50,000円
 - ・古河市子ども会育成連合会 100,000円
 - ・古河市母子寡婦福祉連合会 150,000円
 - ・古河市ボランティア協会 700,000円
 - ・古河市老人クラブ連合会 300,000円
 - ・更生保護女性会古河支部 50,000円
 - ・古河市聴覚障害者協会 30,000円
 - ・古河市視覚障害者協会 20,000円
 - 15団体合計 3,318,000円

③ボランティア活動の情報収集拡大・充実

ホームページや社協だよりにおいて情報発信やボランティア活動の募集等を行いました。

④ボランティア講座等の実施

傾聴ボランティア養成講座

開催日 令和7年2月26日（水）
会 場 古河市三和地域福祉センター
受講者 23名
内 容 高齢者や障がい者等の方々の話に耳を傾け、
相手の気持ちを受け止めるために必要なスキル等



傾聴ボランティア養成講座

⑤地域福祉活動マイスター認定制度の実施

社協が実施した各講座の参加者や地域福祉活動実践者へボランティアパスポートを配布し、各段階の活動回数に応じて「ももちゃんピンバッジ」贈呈し、継続的なボランティア活動への支援に結びました。



ももちゃんピンバッジ
～ワンスター～

累計	ワンスター	ツースター	スリースター	フォースター	シルバー	ゴールド
	478名	269名	232名	3名	2名	0名

⑥古河市老人クラブ連合会への活動支援（市支援金手続き支援業務等）

明るい長寿社会づくりと保健福祉の向上を目指し、地域を基盤とする高齢者の自主的な組織としての事務局運営を支援しました。

・市内老人クラブ数 69クラブ 【R5年度76クラブ】

（6）地域ネットワークの構築

①各種関係団体の連携強化

包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

地域において多職種相互の協働等による、個々の高齢者の状況や変化に応じた包括的・継続的なケアマネジメントの実現を目指し、地域における連携・協働の体制づくりや、介護支援専門員に対する支援等を行いました。

【介護支援専門員との連携（相談・同行）地域包括支援センター古河・三和担当件数】

地 区	R 6 年度	R 5 年度	前年度比
古河地区	52件	54件	2件減
三和地区	31件	27件	4件増

専門職からの在宅医療・介護に関する相談業務

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために、医療機関や介護事業所等の専門職からの相談に応じ、関係者間の連携・協働の体制づくりに努めました。

【関係機関からの相談（医療機関等）地域包括支援センター古河・三和担当件数】

地 区	R 6 年度	R 5 年度	前年度比
古河地区	87件	74件	13件増
三和地区	72件	51件	21件増

②地域福祉ネットワークの構築

買い物支援事業（モデル地域 古河市大山在住の高齢者）

第1層協議会「地域生活支えあい会議」の中で福祉課題の抽出、課題解決の手段について検討し取り組みを具体化しました。資源調査の中で特に買い物支援の需要が高かった地域をモデルとして買い物の支援を必要としている人を大型店やショッピングモール等に送迎し、買い物支援・居場所・仲間づくりを目指しています。

事業を継続しながら、社会福祉法人や地域住民の協力も得られており、今後の事業化や地域住民が主体となる取組としての可能性を検討しています。

- ・開催日 令和6年9月18日（水）
- ・行 先 マーケットシティ古河
- ・参加者 7名（内ボランティア4名）
- ・協力機関 社会福祉法人パステル 多機能型事業所おおぞら

③コミュニティソーシャルワーク機能の強化

アウトリーチ支援強化事業

本事業は、『ひきこもり』や、『8050』問題の当事者等、複雑、複合化した支援ニーズを抱えながらも必要な支援が届いていない方に必要な支援を届けるための事業です。

	R 6 年度	R 5 年度	前年度比
相談受付件数	2 5 3 件	3 6 4 件	1 1 1 件減
プラン作成件数	4 件	4 件	増減なし

基本目標 2

支援を必要としている人を包括的、重層的に支える社協

（1）在宅福祉サービスの充実・支援（高齢者・介護保険事業）

①ひとり暮らし高齢者会場型デイサービス事業

市内在住の65歳以上のひとり暮らし高齢者等を対象に、引きこもりの防止と介護予防を目的に各公民館等において各地区民生委員の協力をいただき実施。さらに、ボランティア同士の交流会、研修会も実施しました。

実施会場 隣保館（月1回） 【R5年度 2会場 277名】

利用者累計 148名

②ふれあいいきいきサロン事業

地域住民が自主的に企画運営をし、人と人とを結ぶ交流の場、居場所づくり・仲間づくりの場を目指した活動を行いました。また、サロン運営に対しての助成金交付や活動、開設についての助言を実施しました。

助成金 20,000円（一律）

サロン数 55サロン【R5年度 56サロン】

（内訳）古河地区 26サロン【R5年度 27サロン】

総和地区 13サロン【R5年度 13サロン】

三和地区 16サロン【R5年度 16サロン】



③在宅福祉サービスセンター「ももちゃんお助け隊」運営事業

住民参加型の非営利的な会員制の在宅サービスで、高齢者や障がい者などがある家庭や、子育て

中の家庭に対し家事援助などの支援を行いました。「ももちゃんお助け隊」と愛称を付けて実施いたしました。

- ・利用会員利用者（延べ） 3 6 5 名 【R5 年度 444 名】
- ・協力会員活動者（延べ） 1 3 0 名 【R5 年度 177 名】
- ・支援回数 1, 0 5 7 回 【R5 年度 1, 439 回】
- ・支援時間 1, 3 5 0 時間 【R5 年度 2, 081 時間】

④居宅介護支援事業（介護保険事業）

介護認定を受けた方の介護度や心身の状態に応じて、適切なサービスが受けられるよう、古河市やサービス事業所等との連絡調整を重ね、適正なケアプラン作成に努めました。

また、要介護や要支援になった方が、住み慣れた地域で自立した生活続けることができるよう、各種研修会に積極的に参加し、援助に関する専門家としてのスキルアップを図りました。

《延べ利用者数》

	R 6 年度	R 5 年度	前年度比
居宅介護支援	1, 4 1 0 名	1, 5 3 6 名	1 2 6 名減
介護予防支援	2 4 0 名	2 8 7 名	4 7 名減

⑤訪問介護事業（介護保険事業）

介護認定を受けた高齢者等に対し、入浴・排泄・食事の介助、生活支援サービスを提供しました。

高齢者等が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ日常生活を営むことができるように留意しました。また、特定事業所として社協内研修の実施や各種研修会に積極的に参加しました。

《延べ利用者数》

	R 6 年度	R 5 年度	前年度比
訪問介護事業	3, 5 7 1 名	4, 0 2 4 名	4 5 3 名減
総合事業	2, 2 1 7 名	2, 9 7 8 名	7 6 1 名減

ヘルパー研修会

開催日 令和7年1月14日（火）、16日（木）

会 場 三和地域福祉センター、古河福祉の森会館

出席者 26名

内 容 腰痛予防講演会（動画配信）

腰痛予防モデル施設の取り組みを参考に、訪問介護の場面での腰痛予防について話し合いました。

感染症予防対策勉強会

開催日 令和6年6月18日（火）、20日（木）

会 場 三和地域福祉センター、古河福祉の森会館

出席者 26名

内 容 テキストを使って感染症予防や食中毒、熱中症予防について対策を検討しました。

⑥家事育児訪問支援事業

家事・育児等に対して不安や負担を抱える妊産婦および子育て世帯において、親族等の支援がなく心身の不調により家事や育児を行うことが困難な世帯に対して、ヘルパーを派遣し家事や育児の一部を支援しました。

《延べ利用者数》

	R 6 年度	R 5 年度	前年度比
家事支援	1 4 4 名	7 9 名	6 5 名増

⑦自動車運送（移送サービス）事業

訪問介護事業の移送サービスに付帯する通院等乗降介助業務のため、道路運送法における有償運送の許可を取得し、要介護者の移送を実施しています。

《延べ利用者数》

	R 6 年度	R 5 年度	前年度比
自動車運送回数	3 6 3 回	3 2 0 回	4 0 回増

⑧地域包括支援センター事業（古河地区・三和地区）

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう、保健・医療・介護・福祉の専門職を配置し、下記の事業に取り組みました。

1) 介護予防・日常生活支援総合事業及び指定介護予防支援に関する業務

要支援認定者に対して、自立した生活が送れるよう、心身の状況や置かれている環境等を勘案した介護予防サービス計画を作成するとともに、その提供のために介護予防サービス事業者等との連絡調整を行いました。

【介護予防ケアマネジメント及び介護予防支援計画作成件数】

ケアプラン作成数		R 6 年度	R 5 年度	前年度比
古河	センター作成	1, 4 1 7 件	1, 3 8 1 件	3 6 件増
	委託事業所作成	5, 2 4 9 件	5, 0 7 5 件	1 7 4 件増
	合 計	6, 6 6 6 件	6, 4 5 6 件	2 1 0 件増
三和	センター作成	7 6 0 件	7 9 0 件	3 0 件減
	委託事業所作成	2, 3 1 7 件	2, 3 1 8 件	1 件減
	合 計	3, 0 7 7 件	3, 1 0 8 件	3 1 件減

2) 認知症高齢者行方不明等対応業務

高齢者の行方不明事案が発生した際に、警察署や市、関係機関と連携し、家族に認知症への対応についての助言や、介護保険サービスの利用につなげるなど、再発防止に努めました。

【行方不明及び身元不明の対応】

地区	R 6 年度	R 5 年度	前年度比
古河	1 4 件	9 件	5 件増
三和	1 件	1 件	増減なし

3) 地域ケア個別会議の開催（古河地区年6回・三和地区6回開催）

高齢者の実態把握や課題解決にあたり、多職種の専門職による検討会議を開催し、総合調整を図りました。

⑨福祉用具（車椅子等）の貸出

	R 6 年度	R 5 年度	前年度比
車椅子	2 8 4 件	2 6 1 件	2 3 件増
介護用ベッド	3 0 件	3 9 件	9 件減

（2）在宅福祉サービスの充実・支援（障がい者）

①デイスティ事業

障害児(者)を介護している家族等が一時的に家庭においての介護が困難になったときに、障害児(者)を一定時間預かり家族の負担軽減を図るため、支援スタッフが身の回りの世話や援助のサービス提供を行いました。

＜実施施設：「のぞみ」古河福祉の森会館＞

のぞみ	R 6 年度	R 5 年度	前年度比
実施日数	2 1 5 日	8 0 日	1 3 5 日増
利用者累計	3 2 8 名	1 0 1 名	2 2 7 名増
利用時間累計	8 5 1 時間	2 6 9 時間	5 8 2 時間増
支援スタッフ（延べ）	4 0 2 名	1 6 4 名	2 3 8 名増

＜実施施設：「さんわ」古河市三和地域福祉センター＞

令和6年度は利用者なし。【R5年度 0件】

②指定居宅介護事業（自立支援事業）

在宅で生活されている障がいのある方に対して、入浴・排泄・食事の介護並びに家事支援サービスを提供しました。

	R 6 年度	R 5 年度	前年度比
指定居宅介護事業	1 6 5 名	2 5 1 名	8 6 名減
同行援護	2 2 1 名	1 0 1 名	1 2 0 名増
重度訪問事業	0 名	0 名	増減なし

③特定相談支援事業・障害児相談支援事業

障がいのある方が有する能力及び適正に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、相談及びサービス等利用計画書を作成し、効率的に提供されるように支援しました。

	R 6 年度	R 5 年度	前年度比
指定相談支援事業（障がい者）	1 1 件	1 2 件	1 件減
指定相談支援事業（障がい児）	3 2 件	1 9 件	1 3 件増

基本目標 3

社会的弱者に寄り添い、権利擁護を推進する社協

（1）生活安定のための環境づくり

①生活困窮者自立支援事業

生活困窮者の相談に広く対応し、その者が抱える課題を把握するとともに、その置かれている状況や本人の意思を十分に確認しながら個々の状態にあった支援プランを作成し、関連事業や関係機関との連携を行いました。

自立相談支援事業

	R 6 年度	R 5 年度	前年度比
新規相談受付件数	2 8 1 件	3 1 4 件	3 3 件減
プラン策定数	1 3 件	1 2 件	1 件増
一般就労者数	3 2 名	2 1 名	1 1 名増

住居確保給付金事業

離職等により経済的に困窮し、住居を喪失した者又は住居を喪失する恐れのある者に対し、家賃相当分の住居確保給付金を支給し、住居と就労機会の確保に向けた支援を行いました。

	R 6 年度	R 5 年度	前年度比
住宅確保金支給決定	2 名	0 名	2 名増
うち常用就職者	2 名	0 名	2 名増

家計相談支援事業

家計の見直しを行いながら、困窮世帯の家計管理能力の向上を図り、早期に生活を再生させる支援を行いました。

	R 6 年度	R 5 年度	前年度比
家計相談利用者数	1 5 名	1 4 名	1 名増
家計再生プラン策定	1 1 名	6 名	5 名増

②アウトリーチ等を通じた継続的支援事業（別記）

※基本目標 1（6）地域ネットワークの構築 ③コミュニティソーシャルワーク機能の強化

③ヤングケアラー支援体制強化事業

ヤングケアラー・コーディネーターを配置し、関係機関の職員、教職員等を対象とした研修会を開催すること等により、ヤングケアラーを早期に発見、把握できるようにします。

そして、ヤングケアラーへの支援体制の強化を図り、ヤングケアラーやその家族も含めた支援が適切に実施されるようにすることを目的とします。

【教員向けヤングケアラーに関する研修会】

開催日 令和6年8月8日（木）・9日（金）

場 所 ネーブルパーク平成館

参加者 2日間で58名

（市内小中学校、高校、専門学校のうち36校が参加）

内 容 ・ヤングケアラーの概要
・支援体制の構築
・グループワーク



教員向け研修会

※他にも民生委員児童委員協議会、相談支援事業所（障がい）を対象として研修を実施しています。

・参加人数 189名（延べ）

【ヤングケアラーに関する講演会】

開催日 令和7年2月8日（土）

参加者 180名

講 師 特定非営利活動法人「カタリバ」 和田 果樹 氏

内 容 「知っていますか～ヤングケアラーについて～」

※「第3回ふくしまつり」と同時開催（24 ページ参照）



ヤングケアラーに関する講演会

<ヤングケアラー支援体制強化事業での支援実施件数>

※研修実施後に関係機関から支援の要請を受けたことにより、対象者への支援を開始しました。教育委員会・学校・関連事業所・ボランティア等と支援体制を構築し、支援にあたっています。

	R 6 年度	R 5 年度
支援の要請	1 件	6 件
支援の実施	1 件	3 件

④生活福祉資金貸付事業

茨城県社会福祉協議会からの受託事業として、低所得世帯や障害者世帯、高齢者世帯をはじめ、失業等により生計の維持が困難となった世帯に対して、世帯の自立を支援することを目的に貸付に関する相談や申請事務手続きを行いました

貸付申請件数 1 件 【R5 年度 2 件】

・総合支援資金 0 件 ・福祉資金 1 件 ・教育支援資金 0 件

・不動産担保型生活資金 0 件

【生活福祉資金特例貸付フォローアップ支援業務事務】

償還免除を行った借受人、償還免除に至らないものの償還が困難な借受人への架電や訪問等でフォローアップ支援を行いました。

・償還免除を行った借受人への生活状況の把握

1, 0 6 8 件（延べ） 内訳：受架電948件、訪問28件、来所92件

把握後に自立相談支援機関に繋いだ件数334件（実数）

- ・償還免除申請に未応答の借受人への支援
31件（実数）記載援助、償還免除案内
- ・償還免除に至らないものの償還が困難な借受人への支援
1,932件（延べ）内訳：受架電1,725件、訪問59件、来所148件
把握後に自立相談支援機関に繋いだ件数1,271件（実数）
- ・その他の支援
788件（延べ）
内容：新規貸付・住居確保給付金・家計改善支援・食料支援・就労支援・書類確認
償還方法変更・氏名等変更・生活保護・アウトリーチ・生活相談対応等

⑤生活一時資金貸付事業

本会の自主事業で、低所得世帯に対する支援として貸付を行いました。

- ・貸付件数 0件【R5年度 1件】
- ・貸付金額 0円【R5年度 10,000円】
- ・償還完了件数 0件【R5年度 2件】

⑥緊急生活支援対策事業（お米券等の配布等）

古河市における生活困窮者等に対する支援の一環として、緊急的な対応を必要とする世帯に対し、緊急支援を行ないました。

- ・救援物資支給 8件
- ・支給対象額 33,000円

⑦行旅人に対する援助

遠隔地から仕事探し等のために居住地を出て来たが、帰るための旅費がなくなってしまった方を対象とした援助を行いました。（200円）

- ・6件 1,200円【R5年度4件・800円】

⑧風水震災被災者に対する援助

火災 全焼20,000円、半焼10,000円のお見舞い

- ・全焼 6件
- ・半焼 1件【R5年度 全焼4件・半焼1件】

（2）権利擁護の充実（成年後見サポートセンターの拡充）

①日常生活自立支援事業

認知症高齢者や知的または精神的に障がいのある方など判断能力が不十分な方に対して、福祉サービスの利用手続きの援助や日常生活の金銭管理援助及び書類等の預かりサービスを行いました。

	R6年度末	R5年度末	前年度比
支援中	17件	18件	1件減
新規契約	5件	5件	増減なし
契約終了	6件	7件	1件減

②成年後見制度の利用推進と中核機関機能の強化

認知症や障害などにより判断能力が不十分な方が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、成年後見制度を円滑に利用できる支援を行い、擁護するとともに、成年後見制度の利用促進を図ることを目的とします。

＜成年後見制度の利用に関する相談＞

	R6年度	R5年度	前年度比
問合せ	140件	93件	47件増
申立相談支援	115件	162件	47件減
利用中の支援	8件	0件	8件増

<成年後見制度の利用に関する手続き支援>

	R 6 年度	R 5 年度	前年度比
申立支援実人数	27件	31件	4件減

<市民後見人の選任（累計）>

	R 6 年度末	R 5 年度末	前年度比
人数	1人	1人	増減なし

<市民後見人の育成に関すること>

【市民後見人養成講座修了者フォローアップ研修及び情報交換会】

開催日 令和6年10月15日(火)
場 所 古河福祉の森会館 視聴覚室及びボランティアセンター
参加者 研修12名 情報交換会13名
講 師 茨城県社会福祉士会 上田 和寿氏
内 容 ・研修 意思決定の基礎知識
・情報交換会 意思決定支援に係るグループワーク

【市民後見人養成講座】

開催日 令和6年11月13日(水)～令和7年2月7日(金) 11日間
場 所 古河市総和福祉センター健康の駅 2階 視聴覚室他
受講者 7名(内修了者 6名)
内 容 ・外部講師による研修・後見業務同行・施設実習

<中核機関に関すること>

【古河市成年後見地域連携協議会】

開催日 令和6年8月7日(水)
場 所 古河市総和福祉センター健康の駅 2階 視聴覚室
出席者 13名(司法関係者、福祉関係者、医療関係者、金融関係者、行政関係者)
内 容 ・委嘱状交付
・協議 古河市における成年後見制度の課題
～司法、福祉、医療、金融、行政、中核機関の視点から～

【成年後見中核機関福祉関係者向け研修会】

開催日 令和7年3月14日(金)
場 所 古河市総和福祉センター健康の駅 2階 視聴覚室
参加者 51名(居宅介護支援事業所、在宅介護支援センター、地域包括支援センター、障がい福祉相談支援事業所、医療機関、行政機関)
内 容 ・成年後見サポートセンターこが・日常生活自立支援事業業務概要説明
・成年後見制度の基礎
講師 公益社団法人 成年後見センター・リーガルサポート茨城支部
下山司法書士行政書士事務所 下山 竜二氏

<日常生活自立支援に関すること>

【生活支援員研修】

開催日 令和7年1月29日(水)
場 所 茨城県トラック協会 2階 研修室
参加者 8名
内 容 ・成年後見制度の基礎知識
・日常生活自立支援事業から成年後見制度への移行について
・情報交換会



③法人後見事業の実施＜受任者数＞R 6 年度末

適切な後見人がいない方等に対し、本会が法人として、後見人等を受ける事業です。

	認知症高齢者等		知的障害者等		精神障害者等		その他		合計
	後見	保佐	後見	保佐	後見	保佐	後見	保佐	
後見等	5	1	1	0	4	0	1	0	1 2
後見監督	1	0	0	0	0	0	0	0	1
任意後見契約									1
									1 4

(3) 相談体制の充実

①相談支援体制の充実（地域包括支援センター事業の一部）

総合相談支援業務、権利擁護業務

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、必要な支援を把握し、適切な保健・医療・福祉サービス、関係機関又は制度の利用につなげる等の支援を行いました。

相談件数	R 6 年度	R 5 年度	前年度比
古河地区	2, 3 6 6 件	2, 2 5 5 件	1 1 1 件増
三和地区	8 1 1 件	7 3 8 件	7 3 件増

生活困窮・権利擁護等の支援センターの設置・運営

「古河市生活支援センター」と「成年後見サポートセンターこが」を総和地区の「たんぽぽ館」へ移転しました。

上記事業を同事務所にすることで、生活困窮者や権利擁護が必要な方へのワンストップ支援が出来る体制を整備しました。

②心配ごと相談事業

開催日 毎週水曜日 午後 1 時 3 0 分～3 時 3 0 分

場 所 古河福祉の森会館、三和地域福祉センター

相談件数累計 1 4 件【R5 年度 37 件】

相談内容 ・生活、職業、家族、病気、人権、財産、近所間のトラブル等

③苦情解決体制の充実

苦情解決第三者委員会【R5 年度 1 回開催】

開催日 令和 6 年 1 0 月 2 8 日（月）午後 2 時

場 所 三和地域福祉センター 相談室

出席者 苦情解決第三者委員 2 名 事務局 2 名

報告件数 2 件



基本目標 4

新たな福祉ニーズに柔軟に対応し、次世代へと信頼をつなぐ社協

(1) 適正な法人の運営

①地域福祉活動計画の推進

「地域共生社会」の実現に向けて、地域福祉活動計画に沿った各事業を行いました。

②事務局体制の充実

理事会・評議員会・監事会・各委員会の開催

1) 理事会(全4回) 【R5 年度 5 回開催】

【第1回】

開催日 令和6年6月7日(金) 午後2時
会 場 古河福祉の森会館 ボランティアセンター
出席者 理事14名 監事2名
議 事
・古河市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について
・古河市社会福祉協議会理事候補者の推薦について
・古河市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について
・令和5年度古河市社会福祉協議会事業報告について
・令和5年度古河市社会福祉協議会収支決算について
・古河市社会福祉協議会職員給与等に関する規程の一部改正について
・基本財産の処分及び基本財産の処分に伴う定款の変更について
・令和6年度古河市社会福祉協議会第1次補正収支予算について
・評議員の召集事項について

【第2回】

開催日 令和6年9月9日(月) 午後2時
会 場 古河福祉の森会館 ボランティアセンター
出席者 理事14名 監事2名
議 事
・職務執行状況の報告について
・第1回共同募金配分委員会の報告について
・古河市社会福祉協議会理事候補者の推薦について
・古河市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について
・令和6年度古河市社会福祉協議会第2次補正収支予算について
・古河市社会福祉協議会職員給与等に関する規程の一部改正について
・評議員会の召集事項について

【第3回】

開催日 令和7年3月3日(月) 午後2時
会 場 古河福祉の森会館 ボランティアセンター
出席者 理事13名 監事2名
議 事
・令和6年度社会福祉法人一般検査結果報告について
・職務執行状況の報告について
・第2回共同募金配分委員会の報告について
・第1回福祉事業推進委員会の報告について
・理事候補者の推薦について
・令和6年度古河市社会福祉協議会第3次補正収支予算について
・古河市社会福祉協議会職員就業規程の一部改正について
・古河市社会福祉協議会職員給与等に関する規程の一部改正について

- ・令和7年度古河市社会福祉協議会事業計画について
- ・令和7年度古河市社会福祉協議会収支予算について
- ・令和7年度役員等賠償補償責任保険契約について
- ・評議員会の招集事項について

【第4回】

※書面決議（時間的猶予不足の為）

議事提出 令和7年3月18日（火）

人数 理事14名 監事2名

議 事 ・古河市社会福祉協議会常務理事（1名）の選任について

2) 評議員会（全3回）【R5年度4回開催】

【第1回】

開催日 令和6年6月24日（月）午後2時

会 場 古河福祉の森会館 ボランティアセンター

出席者 評議員16名

議 事

- ・古河市社会福祉協議会理事の選任について
- ・令和5年度古河市社会福祉協議会事業報告について
- ・令和5年度古河市社会福祉協議会収支決算について
- ・基本財産の処分及び基本財産の処分に伴う定款の変更について
- ・令和6年度古河市社会福祉協議会第1次補正収支予算について

【第2回】

開催日 令和6年10月1日（火）午後2時

会 場 古河福祉の森会館 ボランティアセンター

出席者 評議員15名

議 事

- ・古河市社会福祉協議会理事の選任について
- ・令和6年度古河市社会福祉協議会第2次補正収支予算について

【第3回】

開催日 令和7年3月18日（火）午後2時

会 場 古河福祉の森会館 ボランティアセンター

出席者 評議員17名

議 事

- ・古河市社会福祉協議会理事の選任について
- ・令和6年度古河市社会福祉協議会第3次補正収支予算について
- ・令和7年度古河市社会福祉協議会事業計画について
- ・令和7年度古河市社会福祉協議会収支予算について

3) 監事会（全1回）【R5年度1回開催】

開催日 令和6年5月8日（水）午前10時

会 場 社会福祉協議会 相談室

出席者 監事2名

内 容 ・令和5年度の監査について

4) 評議員選任・解任委員会（全2回）【R5年度3回開催】

【第1回】

開催日 令和6年6月7日（金）午後3時30分

会 場 古河福祉の森会館 創作室1

出席者 評議員選任・解任委員5名

議 事 ・古河市社会福祉協議会評議員の選任について



【第2回】

開催日 令和6年9月9日（月）午後3時30分
 会場 古河福祉の森会館 研修室6号
 出席者 評議員選任・解任委員5名
 議事 ・古河市社会福祉協議会評議員の選任について



街頭募金～さんさんまつり～

5) 共同募金配分委員会（全2回）【R6年度3回開催】

【第1回】

開催日 令和6年8月20日（火）午前10時
 会場 古河福祉の森会館 ボランティアセンター
 出席者 委員6名
 議事 ・委員長、副委員長の選任について
 ・令和6年度歳末たすけあい事業配分について
 ・社会福祉法人古河市社会福祉協議会歳末助けあい事業実施要綱の一部改正について（報告）

【第2回】

開催日 令和6年11月26日（火）午後2時
 会場 古河福祉の森会館 ボランティアセンター
 出席者 委員5名
 議事 ・令和6年度歳末たすけあい事業要援護世帯援護金配分対象者及び歳末地域たすけあい事業配分対象団体の決定について
 ・令和6年度歳末たすけあい事業要援護世帯援護金配分金額及び、歳末地域たすけあい事業配分金額の決定について

6) 福祉事業推進委員会（全1回）【R5年度2回開催】

【第1回】

開催日 令和7年2月14日（金）午後2時
 会場 古河福祉の森会館 ボランティアセンター
 出席者 委員7名
 議事 ・令和7年度の古河市からの受託事業について
 ・令和7年度組織体制と事務分掌の変更について



地域支え合い講演会

7) 役員（理事・監事）研修（全1回）【R5年度1回開催】

【第1回】

開催日 令和7年2月8日（土）午前9時30分
 場所 共和電設とねミドリ館
 出席者 役員14名
 内容 ・地域支え合い講演会
 「支え合い今昔物語～暮らしの中のホンモノの支え合いとは？～」
 ・ヤングケアラー講演会「知っていますか？～ヤングケアラーについて～」

8) 法人後見運営委員会（全2回）【R5年度2回開催】

原則2ヶ月に1回（偶数月の第4木曜日）開催。案件等がない場合は中止

	実施年月日	協議内容
第1回	令和6年 4月25日（木）	委員委嘱、前年度報告
第2回	令和6年 8月22日（木）	法人後見受任審査

9) 衛生委員会（実施なし）【R5 年度 12 回開催】

常時使用する労働者数が、衛生委員会設置基準に満たないため実施なし。

ただし、衛生推進者（2 名）を設置し、健康診断受診やストレスチェック、産業医への相談体制などは整備しています。

※常時使用する労働者 50 名未満の場合設置義務なし（労働安全衛生法施行令第 9 条）

10) 感染症対策委員会（実施なし）【R5 年度 2 回開催】

※訪問介護事業所内で勉強会を実施しました。（13 ページ参照）

③職員研修の実施（全 4 回）

新入職員研修

開催日 令和 6 年 4 月 8 日（月）～ 12 日（金）

場 所 ㈱坂東太郎

出席者 新入職員 1 名

内 容 社会人としての接遇マナーを身につける

業務考課研修

開催日 令和 6 年 5 月 14 日（火）・15 日（水）

場 所 古河福祉の森会館 ボランティアセンター

出席者 全職員

内 容 業務考課の趣旨・実施方法等について理解を深める

認知症サポーター養成講座

開催日 令和 7 年 1 月 21 日（火）

場 所 古河福祉の森会館 ボランティアセンター

出席者 令和 4 年度以降に入職した職員 9 名

内 容 認知症に関する正しい知識を身につける

コンプライアンス研修

開催日 令和 7 年 1 月 14 日（火）・17 日（金）・20 日（月）・22 日（水）・23 日（木）
24 日（金）・28 日（火）

場 所 古河福祉の森会館 ボランティアセンター

出席者 全職員

内 容 コンプライアンス・組織マネジメント・組織に対するエンゲージメントの向上

対応の 7 つのポイント

- 1、まずは見守る …さりげなく
- 2、余裕を持って対応する …落ち着いて
- 3、声をかける時は 1 人で …怖がらせない
- 4、後ろから声をかけない …驚かせない
- 5、相手に目線を合わせてやさしい口調で
- 6、おだやかに、はっきりした滑舌で
- 7、相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する

(2) 広報・啓発活動

①社協だよりの発行

年間 4 回（6 月 1 日、10 月 1 日、12 月 1 日、3 月 1 日）

・作成数 46, 200 部

・配布先 古河市内全戸、関係機関等

②ホームページの公開

社協ホームページの中に「ももちゃんブログ」を開設し、

社協活動の画像を公開することで PR をしております。

ホームページアドレス URL <http://www.koga-syakyo.com/>



	R 6 年度	R 5 年度	前年度比
総閲覧者数	119,321 件	109,824 件	9,497 件増

（平成 23 年 6 月開設）

③ SNS を活用した情報発信

LINE

R6.4 開設 登録者数 76 名 情報発信 7 回

Instagram

R6.10 開設 フォロワー 92 名 情報発信 9 回

④ ふくしまつり・イベントの開催

第3回ふくしまつりの開催

福祉に関する映画上映とボランティア団体や企業による模擬店を実施しました。また、福祉講演会と同時開催いたしました。

開催日 令和7年2月8日(土)

会場 共和電設とねミドリ館

参加団体 37 団体

映画鑑賞者 180 名

内容 映画上映、福祉体験、模擬店、バザー等

Kogal インクルーシブフェスティバルの協賛

開催日 令和6年12月14日(土)

場所 共和電設とねミドリ館

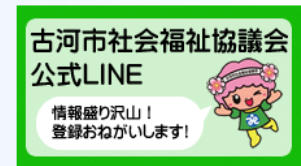
内容 講演会・表彰・作品展示

第74回 茨城県社会福祉大会

開催日 令和7年2月20日(木)

場所 ザ・ヒロサワ・シティ会館

顕彰者 28 名



第3回ふくしまつり



第74回茨城県社会福祉大会

(3) 財源の確保

① 社会福祉協議会会費

社協財源の基盤となる会費を各世帯や企業等に協力していただきました。

特別(大口)会費については、事務局長以下係長までの職員が再度各企業に訪問して

協力依頼を実施しました。

(単位：円)

	令和6年度	令和5年度	前年度比
一般会費	9,682,935	9,564,145	118,790 増
特別会費	467,000	486,000	19,000 減
特別大口会費	3,370,000	3,205,000	165,000 増
合計	13,519,935	13,255,145	264,790 増

② 共同募金(赤い羽根、歳末たすけあい) 事業の支援

茨城県共同募金会古河市共同募金委員会として、共同募金運動(赤い羽根募金、歳末たすけあい募金)、災害たすけあい義援金の募金活動を実施しました。

【実績額】赤い羽根募金 18,693,929 円【R5 年度 19,798,590 円】

歳末たすけあい募金 8,267,729 円【R5 年度 8,094,398 円】

災害たすけあい義援金 481,612 円【R5 年度 615,693 円】

(内訳) 令和6年能登半島地震災害義援金 440,512 円

令和6年7月大雨災害義援金 11,100 円

令和6年能登大雨災害義援金 30,000 円

歳末たすけあい配分事業

自己申請方式により、下記の対象世帯に一律 10,000 円を配分しました。

【R5 年度配分金 対象世帯あたり一律 10,000 円】

※協力いただいた金額と申請件数によって金額は変動いたします。

	配分対象別	配分金額(円)	件数
1	満 70 歳以上のひとり暮らし高齢者	5,300,000	530
2	満 70 歳以上の高齢者のみ世帯	980,000	98
3	満 70 歳以上の高齢者が中学 3 年生以下の子どもを養育している世帯	0	0
4	要介護 3 以上の認定を受けている方のいる世帯	40,000	4
5	準要保護世帯の認定を受けている世帯	60,000	6
6	中学 3 年生以下の子どもを養育しているひとり親世帯であり、児童扶養手当を受給している世帯	150,000	15
7	障害者のいる世帯（身体障害者手帳 1・2 級、療育手帳 A または A、精神障害者保健福祉手帳 1・2 級、障害者年金 1 級・2 級）	460,000	46
	合 計	6,990,000	699

【R5 年度 7,570,000 円・757 件】

③その他の財源の拡充

1) 不要入れ歯回収事業（別記）

※基本目標 1（4）地域福祉活動のしやすい環境づくり①ボランティア活動への参加促進

2) 寄附金の受け入れ（別記）

※基本目標 1（4）地域福祉活動のしやすい環境づくり②企業の社会貢献活動等の促進

3) ファンドレイジングの実施

地域福祉活動の推進のため、組み立て式の地域支えあい募金箱の配布や店舗への常設として、地域支え合い募金箱を設置しました。集まった募金については、指定された 2 層協議体へ払い出しを行いました。また、市内企業より地域づくり事業への指定寄付については、地域づくり事業全般に活用しました。

令和 6 年度募金箱の合計額 38,560 円

【地域支え合い募金箱設置店舗】

(株)ジョイフル本田 古河店
ウエルシア 古河鴻巣店

【地域づくり事業への指定寄付企業】

COKOGA OFFICE



ウエルシア古河鴻巣店